

● 企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用に関する研究会

本研究会では、FCPの基本的な考え方に基づき、平成21年度に作成した「FCP商談会・展示会シート」の活用に関する情報を共有し、広く普及させるための意見交換を行います。

具体的には、「FCP商談会・展示会シート」をより多くの方に使用していただくために、「FCP商談会・展示会シート」活用に関する情報を共有し、広く普及させるために、事例集やマニュアル冊子の作成のための意見交換を行います。

併せて、「協働の着眼点」を活用した食品事業者の取組事例に関する情報を広くご提供いただき、意見交換を行うとともに、「協働の着眼点」をより良いものに見直すための情報の提供、改善に向けた提案をしていただきます。

回	開催日	議事次第
第3回	平成24年 1月27日 (金)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会挨拶 2. 本日の研究会の内容について 3. 「FCP展示会・商談会シート作成のてびき」に関する意見交換 4. 23年度活動報告と次年度へ向けての取組・課題について 5. 閉会挨拶 6. 事務局連絡
第2回	平成23年 9月27日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会挨拶 2. 本日の研究会の内容について 3. 「展示会・商談会シート作成の手引き」に関する意見交換 4. 展示会・商談会シート活用状況の確認 5. 展示会・商談会シート記載事例の作成に関する経過報告 6. 閉会挨拶 7. 事務局連絡
第1回	平成23年 6月10日 (金)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会挨拶 2. 研究会の進め方と今後の予定 3. 自己紹介 4. 「FCP展示会・商談会シート」記載事例の作成に関しての意見交換／発表 5. マニュアル冊子製作の原案に関する意見交換

		6. バイヤーへの普及の為のチラシに対する意見交換 7. 連絡事項
--	--	--------------------------------------

平成23年度 FCP
「企業力向上の場としてのマッチング・商談会」
の活用に関する研究会について

平成23年度 研究会の背景と目的

研究会の背景

- これまで行われてきた展示会・商談会は、結果として、食に関するイベントとなりがちであり、そもそもの商談成立の機会づくりとしての役割や、中長期的に重要な食の信頼性向上に必要な気づき、学びの場としての役割が十分に発揮されていないとの問題意識がありました。
- これは、1社あたりの商談の時間が限られる展示会・商談会において、利用目的が異なる出展者、来場者、主催者の交換する情報が整理できていないことが原因であると考えられました。このため、フード・コミュニケーション・プロジェクト(以下「FCP」という)の「協働の着眼点」を活用して「FCP展示会・商談会シート」(以下商談会シートという)を開発し、その普及・拡大を行うことによって、展示会・商談会を単なるイベントに終わらせず、情報のやり取りの効率化と参加企業の企業力向上を図る場としての活用を促進してきたところです。

研究会の目的

- FCPの基本的な考え方にに基づき、今年度はさらに、商談会シートを食品業界に広く普及させることを目的とします。
- 併せて、「協働の着眼点」を活用した食品事業者の取組事例に関する情報を広くご提供いただき、意見交換を行うとともに、「協働の着眼点」をより良いものに見直すための情報の提供、改善に向けた提案していただきます。

平成23年度の研究内容について

研究内容について

- ① 商談会シート記載事例の作成
「商談会シートを活用しようとする事業者が参考となるような事例の作成」
- ② マニュアル冊子製作に向けての原案作り
「中小企業向けに、商談会シートの作成意欲を持たせることを目的としたマニュアルの作成」
- ③ バイヤーへの普及のためのチラシ作成に向けた意見交換
「まだ商談会シートを認知していないバイヤーに対し、その存在とその有効性を知ってもらうことを目的としたチラシの作成」

(参考)平成22年度の活動内容について

企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用に関する研究会

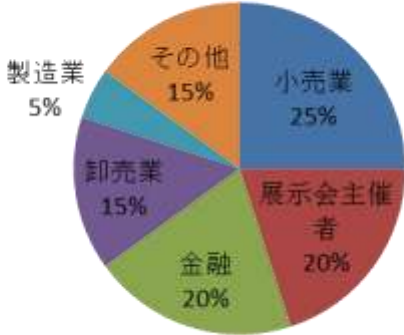
目的	<p>○本研究会では、具体的に「FCP展示会・商談会シート」を活用した結果をご報告いただき、「FCP商談会・展示会シート」活用に関する情報を共有し、「FCP展示会・商談会シート」を広く普及させるためのご提案や課題解決に向けた意見交換を実施。</p> <p>○併せて、「協働の着眼点」を活用した食品事業者の取組事例に関する情報を広くご提供いただき、意見交換を行うとともに、「協働の着眼点」をより良いものに見直すための情報の提供、改善に向けた提案を実施。</p>	
進捗	効率的な意見交換のため、研究会メンバーによるメーリングリストを作成。	
	第1回研究会 H22.7.2	概要:本研究会の進め方と、FCP「展示会・商談会シート」の今後の活用に関する意見交換等を実施。
	第2回研究会 H22.10.8	概要:FCP「展示会・商談会シート」の活用状況の共有と、シートの項目等の枠とその内容等に関しての意見交換を実施。
	第3回研究会 H23.2.3	概要:FCP「展示会・商談会シート」を意見に基づき、より良いものに見直し、その改善案に関する意見交換の実施。 「FCP展示会・商談会シート」に係る農林水産省の規格検討に関する調査の進捗報告の共有。
研究会成果	「FCP展示会・商談会シート」の活用の広がり。 参加者の意見を反映した「FCP展示会・商談会シート」の改定。	

(参考)平成22年度研究会ご登録企業/団体について

- 株式会社アール・ピー・アイ
 - イオンリテール株式会社
 - 一神商事株式会社
 - 伊藤ハム株式会社
 - 株式会社イトーヨーカ堂
 - 株式会社京王百貨店
 - 株式会社JTB西日本
 - 株式会社静岡銀行
 - 社団法人日本能率協会
 - 信金中央金庫
 - 社団法人新日本スーパーマーケット協会
 - 株式会社高島屋
 - 株式会社千葉銀行
 - 株式会社東急ストア
 - 社団法人日本加工食品卸協会
 - みずほコーポレート銀行
 - 三菱商事株式会社
 - 横浜商科大学 地域産業研究所
 - リッキービジネスソリューション株式会社
 - 株式会社菱食
- 計20企業/団体

- 3回の研究会で、のべ48名の参加者
- 各回約2時間進捗報告や意見交換を行いました。

参加事業者の割合



(参考)FCP商談会シートの作成(平成21年度)

FCPに参加する事業者の皆様と商談会シートを作成しました

FCPに参加する事業者の皆様から、
商談会についてこんな意見が
寄せられました



商品特性の何をバイヤー
さんに伝えれば良いか
わからない・・・

食品メーカー

知りたい情報の
ギャップ



おいしいのはわかったけど、
ロットや品質管理の取組み
もわからないと判断できない・・・

バイヤー

展示会・商談会シート (案)

記入日: _____

商品特性と取引条件	
商品名(1)	
商品説明(2)	規格/規格番号(2)
主要原料(3)	JAFコード(2)
生産地(4)	
内容量(5)	包装形態(6)
1ケースあたり入数(7)	保冷温度(8)
倉庫タイプ(9)	販売エリア(10)
販売サービス(11)	サービス(12)
認証(13)	商標(14)
特許(15)	その他(16)

出展企業紹介	
法理企業名(17)	従業員数(18)
年間売上高(20)	
得意先数(22)	
メーカーコード(23)	特許有(24)
ホームページ(24)	
会社所在地(25)	
工場所在地(25)	
担当者(26)	e-mail(28)
TEL(26)	FAX(28)

製造工程(農林水産品の場合は、生産工程)等アピールポイント (27)

工場写真(外観)	工場写真(内観)	工場写真(機械等)
----------	----------	-----------

品質管理情報 (28)

品質管理の取組み	
品質管理の取組み	

協働の着眼点に対応!!

商談会シートの特徴



展示会・商談会主催企業や
小売・卸売企業の現場の方が
集まって作成しました。

自社の商品情報の整理
に役立ちます。
バイヤーさんの知りたい
ことも把握できます。



商品特徴・利用シーン・ターゲット
の他、出展企業紹介・品質管理の取組
などの項目が含まれており、
商談のファーストコンタクトに役立
ちます。

シート作成時に各項目の目的
を明記した商談会マニュアル
も準備しています。



(参考)平成22年度研究会におけるシートへの意見(概要)

○「展示会・商談会シート」のフォーマット自体の標準化に関する、『枠・項目』の議論。(一部抜粋)

現状のままで良いと感じている方が大勢をしめた。

(理由)

- ・まずは作ったシートのそのものの普及と、実際にシートに記入する行為の普及を優先すべき。
- ・実際に良い商品は持っても、今まで商談会に出ることができなかったような、事業者が商談にのっていけるようにするためのシートであるので、項目が難しすぎて、かけない事業者が多くなってしまうことは好ましくない。

項目に関するご意見

- ・アレルギーに関する項目を追加してはどうか
- ・セールスポイント(例えば20文字程度)、おススメのレシピ、メニュー提案等の項目を追加してはどうか
- ・保険加入の有無(PL・リコール保険等)の項目を追加してはどうか

○枠の中にいかに魅力ある内容を書くのかに関する『中身』の議論。(一部抜粋)

- ・製造工程等アピールポイントにおいて、実際の写真とポイントの箇条書き等のセットで記入するような提案もある。
- ・このシートを活用して、2~3分程度でバイヤーに説明できるような研修も含めた体制づくりも大切ではないか。
- ・シートは売ることを手助けするツールであり、そこには商品のストーリーが大切になり、記入の仕方も重要である。

(参考)平成22年度「FCP展示会・商談会シート」の改定について

展示会・商談会シート

記入日：

商品特性と取引条件

商品名(1)			
最もおいしい時期(2)	賞味期限・消費期限(3)		
主原料産地(漁獲場所等)(4)	JANコード(5)		
内容量(6)	希望小売価格(税込)(7)		
1ケースあたり入数(8)	保存温度帯(9)		
発注リードタイム(10)	販売エリアの制限(11)		有・無
最低ケース納品単位(12)	ケースサイズ(重量)(13)	縦 × 横 × 高さ (kg)	
認証・認定機関の許認可(商品・工場等)(14)	有機JAS その他()	HACCP	ISO 農業生産工程管理(GAP)

ターゲット(15)	売り先(複数可)	1)フードサービス 2)百貨・卸 3)メーカー 4)小売 5)ホテル・宴会・レジャー 6)その他()
	お客様(性別・年齢層など)	
利用シーン(16) (利用方法・おすすめレシピ等)		
商品特徴(17)		

商品写真 (18)

商品写真	一括表示
アレルギー表示(特定原材料) ※使用している項目CO えび かに 小麦 そば 卵 乳 落花生	

出展企業紹介

出展企業名(19)			
年間売上高(20)		従業員数(21)	
代表者氏名(22)			
メッセージ (23)			
ホームページ(24)			
会社所在地(25)			
工場所在地(25)			
担当者(26)			
TEL(26)			

製造工程(農林水産品の場合は、生)

--

品質管理情報

商品検査の有無(28)	有・無 (「有」の場合)		
衛生管理への取組(29)	製造工程の管理		
	従業員の管理		
	施設整備と管理		
危機管理体制 【担当者・連絡先/記録】(30)			

- ・研究会での指摘を受け、若干の見直しを行った。(赤字の箇所が変更部分。裏面については変更なし)
- ・「展示会・商談会シート項目と着眼点との関連」の中で説明を付け加えた。
- ・普及を優先に考えるべきであり、現状のままでよいという意見が多かったことを考慮し、改定は、変更が必要な最小限の箇所のみとした。
- ・改定版は、成果報告会(平成23年3月8日)にて報告し、23年度より使用スタートすることした。

(参考)平成23年度に向けての課題

1. 記入例を収集し、課題を共有。普及を進める。
2. 記入の仕方に関する研究(いかに相手に伝えるか)

(第三回研究会参加事業者意見より)

- ・ 事業者が作成した「FCP商談会シート」を来年度の研究会で見えていくことが考えられる。記載のレベルは様々でよいので、普及に向けて事業者が記載を難しく考え過ぎないようにできるサンプルを多く集め、記載のハードル下げる工夫も必要ではないか。
- ・ 書き方マニュアル、文例集的なものがあってもよいのではないか。
- ・ アンケート結果に自信を持って良いので、普及を更に進めていくべき。「FCP商談会シート」を企業のHPに掲載することを進めることも普及につながるのではないか。
- ・ 卸売事業者で「FCP商談会シート」を使用してもらうことも普及につながるのではないか。デファクトスタンダードにするには卸売事業者の力が必要ではないか。

平成23年度研究会の進め方と期待される成果

研究会の進め方

- 本研究会への参加は、別添の「企業力向上の場としてのマッチング・商談会研究会の活用に関する研究会」参加規約に同意の上、参加登録申込書に必要事項をご記入いただき、FCP事務局までE-mail又はFAXでお申し込みください。
- 研究会の資料・議事概要については、ホームページ等で原則公表します。その際、議事概要等は、発言者が特定できないようにしてから公表いたします。
- 但し、研究会の議論内容が、企業秘密に触れたり、個人の権利・利益を害する恐れがあると判断した場合には、研究会資料等を非公表とします。
- 本研究会では効率的な議論を行うため、研究会開催前のアンケートやヒアリングによって、参加者の意向を伺いながら進めます。
- 研究会のアウトプット等は、FCPの成果として公表することを原則とします。

期待される成果

- 商談会シート記載事例の作成
- 商談会シート記載マニュアルの作成
- バイヤーへの普及のためのチラシの作成
- 「協働の着眼点」の活用方法と改善点の提案

平成23年度 研究会活動概要

○研究会：年間3回、全体報告会2回の実施を予定しています。また、内容は下記を予定しています。

・【第1回 研究会】：6月10日(金)13:30～17:00 合同庁舎4号館

①商談会シート記載事例の作成

「商談会シートを活用しようとする事業者にとって参考となるような事例の作成」

- ・サンプル(*)を元に、研究会参加の皆さんのワンポイントアドバイスを入れることなどにより、事業者が商談会シートを記載をする上で参考となるような事例を作成。

*ここで用いるサンプルは研究会参加者からの推薦(自薦・他薦不問)に基づき収集します。

また、研究会でのアドバイスの結果は、推薦者がシートに反映させることとします。なお、反映後のシートは随時ホームページに掲載することを前提としていますので、ご理解の上推薦をお願いします。

②マニュアル冊子製作に向けての原案作り

「中小企業向けに、商談会シートの作成意欲を持たせることを目的としたマニュアルの作成」

- ・マニュアルのあるべき姿についての意見交換
- ・そのマニュアルに必要な具体的な構成、項目、内容についての意見交換

⇒第1回研究会で意見のあった内容を事務局側でまとめ、後日マッチングのメーリングリストにて配信し、研究会に参加できなかった方の意見なども加えてブラッシュアップしたものを作成します。これについて、第2回研究会にて最終意見交換を行った後、冊子として作成し、完成版について地域ランチを始め様々な場面で配布していきます。

③バイヤーへの普及のためのチラシ作成に向けた意見交換

「まだ商談会シートを認知していないバイヤーに対し、その存在とその有効性を知ってもらうことを目的としたチラシの作成」

・チラシ作成に必要な項目、内容、構成についての意見交換。

⇒第1回研究会で完成させ、以後順次様々な場面で配布、普及を行います。

・【第2回 研究会】：9月上旬実施予定(後日ご案内)

・(地域ランチを含む)使用状況の報告。

・マニュアル冊子製作に向けての最終意見交換。

・【全体中間報告会】：東京大学にて9月実施予定(後日ご案内)

・【第3回 研究会】：1月下旬実施予定(後日ご案内)

・商談会での状況報告。

・次年度に向けた課題の意見交換。

・【成果報告会】：東京大学にて3月実施予定(後日ご案内)

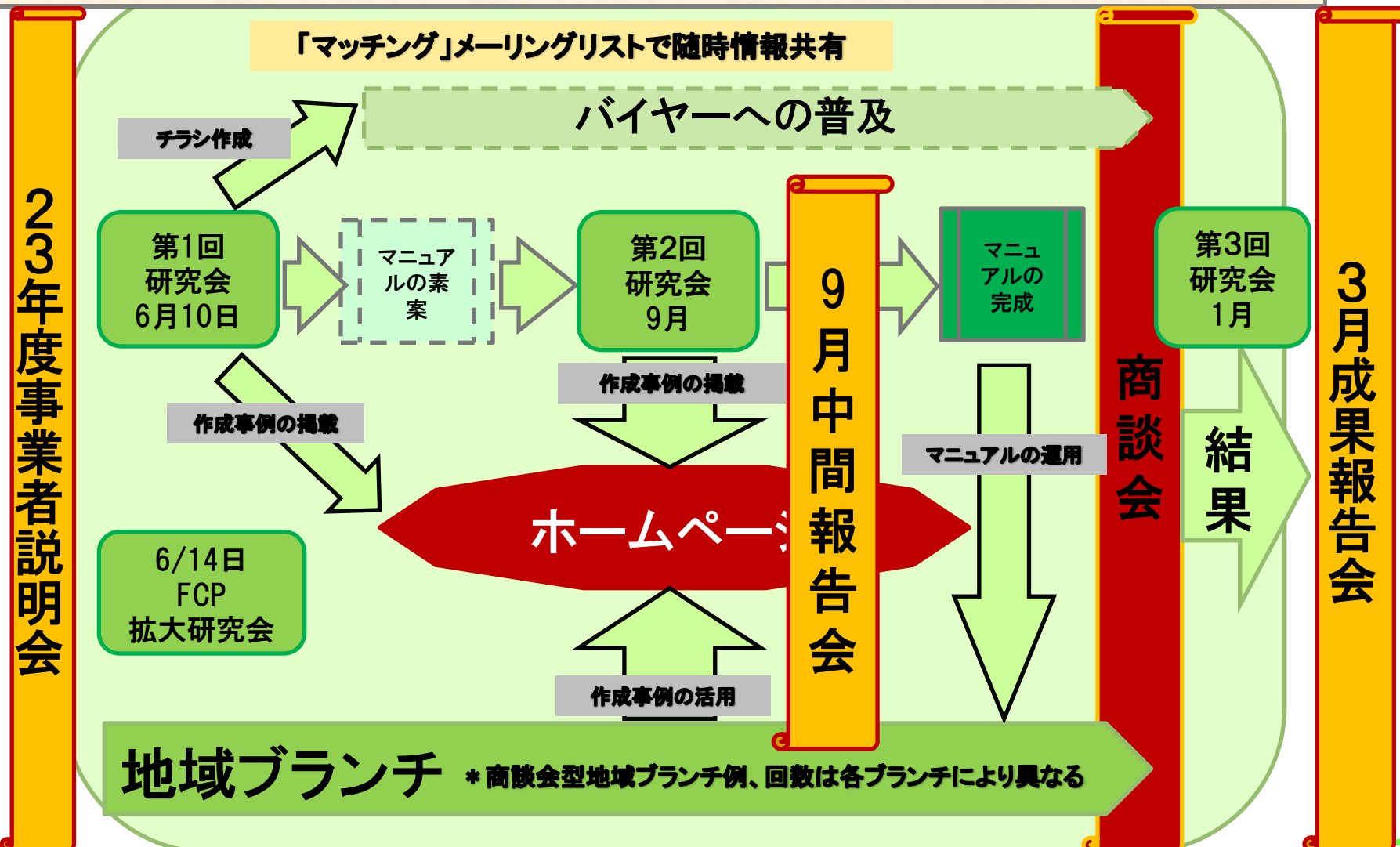
この研究会活動の一環として、研究会参加の皆様には、商談会シートの作成事例のサンプルのご提供、関係者ヒアリングやグループインタビュー等のご協力をお願いさせていただくことがあります。

○研究会の情報共有ネットワークの構築

上記研究会の補完機能として、参加者の皆様にはマッチングメーリングリストに登録していただき、随時、進捗状況の報告を案内させていただくとともに、ご意見をいただいくようにしていきます。

平成23年度 研究会のスケジュール(イメージ)

○農林水産省主催 FCP企業力向上の場としてのマッチング・商談会に関する研究会【回数】全3回開催(予定)、【目的】FCP商談会シートの活用拡大と検証



研究会の参加者にお守りいただきたい事項 (検討作業におけるルール)

- ステークホルダー間でのW I N – W I Nの関係づくりを重視すること

- 建設的・効果的な意見交換に貢献すること
(批判に終始せず、対案を提示するように努めること)

- 個別の組織や団体に対する、誹謗・中傷は行わないこと
(研究会においては、事業者間の利害調整等を行いません)

平成 23 年度フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）
第一回 「企業力向上の場としてのマッチングフェア・商談会の活用促進研究会」

日時 平成 23 年 6 月 10 日（金）13:30-17:00
場所 中央合同庁舎 4 号館 1219～1221 会議室
出席者 14 社 16 名様

<次第>

1. 開会挨拶
農林水産省 FCP チームリーダー 神井調査官
2. 研究会の進め方と今後の予定
3. 自己紹介
4. 「FCP 展示会・商談会シート」記載事例の作成に関する意見交換／発表
5. マニュアル冊子製作の原案に関する意見交換
6. バイヤーへの普及の為のチラシに対する意見交換
7. 連絡事項

<概要>

冒頭、平成 23 年度の FCP 活動の展開方向と本研究会の概要について FCP チームリーダー 神井調査官より説明を行った。

続いて、参加者の自己紹介の後、以下の 3 つのテーマについて意見交換を行った。

- (1) 「FCP 展示会・商談会シート」（以下、「商談会シート」とする）記載事例の作成に関する意見交換/発表

今回の研究会では、グループワーク方式を採用し、今後シートの作成者が参考にできるような事例集を作成することを目的として、事前に数社から今回の意見交換用に推薦していただいた 16 枚の「商談会シート」のサンプルを、それぞれ 4 枚ずつ 4 つのグループに配布し、その記載内容について意見交換を行った。

各グループにおける意見交換の結果、様々な観点からの改善意見等があったが、概ね以下のような意見が各グループ共通のものとして整理された。

- 商品写真の見せ方（撮り方）は、シートの出来を左右するものであり極めて重要。
- フォントの大きさが重要。小さいフォントは読めない、読まない。
- 利用シーン、ターゲット、メッセージの欄はこのシートの最重要項目であるため、ここがきちんと記入されていないといけない。
- 一般に流通されている品目の場合、自社商品の差別化の一文が入っていることが重要。

- (2) マニュアル冊子製作の原案に関する意見交換、及びバイヤーへの普及の為のチラシに対する意見交換/発表

今年度、「商談会シート」の作成者のためのマニュアル冊子を作成するにあたり、そのあるべき姿や、必要項目、具体的内容について意見交換を行った。

また、バイヤーへの普及の為のチラシに対する意見交換についても併せて行った。

① マニュアルのあるべき姿について

- 中小・零細企業の方をターゲットとして、彼らを使用することを想定すべき。
- シンプルでわかりやすいものとするべき。
- 何故このシートを書く必要があるか明示（ベーシック 16 との連動）。
- 明るい未来やゴールにはどんなものがあるのかを示す。
- フローチャート的なものがあると良い。
⇒このシートは製造から販売への流れの中で、どこの過程にあるのかを明示する。

② マニュアルの必要項目と具体的内容

- 「商談会シート」の 30 項目
⇒項目ごとのポイントの記入。何故書くのか、どう書くのか。
⇒書いてはいけない内容などの例。
- 写真の載せ方（撮り方）
⇒おいしそうにみえるコツ
- バイヤーの知りたいポイント
⇒ここが知りたい！バイヤー100人に聞きました的なもの。
- 不十分な事例の掲載
⇒最低限の例→良い例と併記（ステップアップの例）
- 業種・分類ごとの事例集
⇒1次品パターン、6次産品など分類別に事例を作成
- 成功事例集
⇒成功した人のコメントの記載

(3) バイヤーへの普及の為のチラシに対する意見

- 事務局作成の原案を基にして意見交換を行った結果、このままでよいとの意見がでたが、時間切れにより検討できなかったグループもあった。（これに対しては、事務局より、気付きの点があれば後日メール等で連絡を頂くこととした。）

<事務局連絡>

今回の意見交換のまとめや、マニュアル冊子への意見、冊子作成に向けた経過報告を含めた内容は、今後メーリングリストを活用して、研究会参加者へ随時報告していくことが確認された。

<配布資料>

- 資料 1 平成 23 年度 F C P 活動展開と研究会概要について
- 資料 2 バイヤー向けピラ
- 資料 3 F C P 展示会・商談会シート
- 資料 4 作成事例サンプル